



株式会社 ワールド SDGs宣言

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、
SDGsの実現に向けた取り組みを行っていくことを宣言します。

代表取締役 松本 竜

SDGsの達成に向けた取り組み

住民が安心して生活できる環境づくりにより、持続可能性を高めていく

- 当社は2007年2月の設立以来、「安心、満足、思いやり」をモットーに、はつり・解体工事を中心とした事業を展開し、空き家問題の解決や街づくりへ貢献してきました。
- 2025年には本格的にマンション建設事業への参入を果たしたことから、今後は今まで以上に地域との関わり合いを強く持ち、住民の生活環境の向上に努めて参ります。
- その過程においては、施工管理や工事の際に求められる施工計画の策定・環境保全へ全社的に取り組む必要があることから1級建築施工管理技士・1級建築士の国家資格保有者を増やし社員のスキルを高めていきます。また、若手社員の能力開発という点では先輩社員の現場での指示にとどまることなく、定期的に勉強会を開催し社員同士の議論を深め技術者を育成していく方針とします。

【指標】

国家資格(1級建築士・1級建築施工管理技士)の資格保有者数

2025年 12名 ⇒ 2030年 32名 (+20名)

災害に強い建設施工等に関する勉強会の開催数 2025年 0回/年 ⇒ 2030年 12回/年 (+12回/年)



多様な人材が活躍できる場を提供し地域経済の活性化と持続可能な社会実現を目指す

- 今後、営業努力により地域のマンション建設工事の受注数を増やしていき地域経済の活性化と持続可能な社会実現を目指して参ります。
- 今後予想される工数の増加は正規雇用者を増やして対応していきます。新規雇用は地元採用を基本とし地域の若者にとっての就職機会を提供いたします。同時に65歳以上の高齢者の割合を増やしていくことで多様な人材が活躍できる職場づくりに努めて参ります。
- これら新規採用者を含め全ての社員の休暇管理を徹底し、有給休暇の平均取得日数を増やして参ります。

【指標】

地域のマンション建設工事の受注数	2025年 3件/年	⇒	2030年 15件/年	(+12件)
正規雇用者数	2025年 30名	⇒	2030年 70名	(+40名)
高齢者(65歳以上)の割合	2025年 20%(6名)	⇒	2030年 30%(21名)	(+10%)
有給休暇の平均取得日数	2025年 5日/年	⇒	2030年 10日/年	(+5日/年)



建設業者としての責任を果たし、地域住民と共存する

- 建設業者の責任として、現場で発生する建設廃棄物の分別管理を徹底しリサイクルや再資源化を推進して参ります。
- 環境配慮型車両への入れ替え、省エネ運転、事務所の省エネなどに取り組み、CO2排出量の削減に努めて参ります。
- 災害への備えとして、ペットボトルを備蓄して飲料水を確保いたします。万一災害が起きた場合には備蓄する飲料水を住民に供給すると共に、当社が保有する発電機も開放します。

【指標】

環境配慮型車両への入れ替え促進 2025年 5台/20台(25%)⇒2030年 25台/50台(50%)

